

日本情報考古学会会報

NEWSLETTER OF THE JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION No.38 September 2016

目次

日本情報考古学会第36回大会 in Fukuoka の記録 1
日本情報考古学会第36回大会プログラム(記録) ... 2
2015年度第2回理事会議事録 3
2016～2018年度役員選挙結果 3
第37回大会・総会の開催について 4
日本情報考古学会刊行物の頒布 4
お願い 4

日本情報考古学会第36回大会 in Fukuoka の記録

2016年3月26・27日の両日、日本情報考古学会第36回大会を福岡県太宰府市の九州国立博物館（共催）で開催しました。研究発表は24件（口頭16件、ポスター8件）でした。

1日目は研究発表（口頭）の後、高島忠平先生に特別講演を行っていただきました。遠方から聴講に来られた方もおられました。夕刻より九州国立博物館別館のグリーンハウスで懇親会を開き、大いに盛り上がりました。

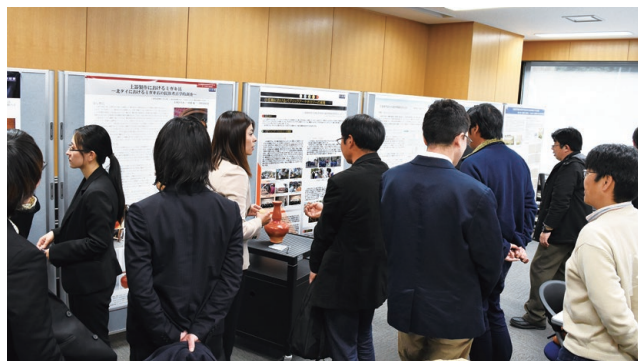
2日目には研究発表（口頭）に加え、ポスターセッションを行いました。また、オプションルツアーとして、同館の博物館科学課のご協力により館内のバックヤードを解説していただきました。三次元計測機器やX線CTなどを中心に興味深く見学させていただきました。



開会式。及川昭文実行委員長の挨拶。特別講演。高島忠平先生。



一般講演。会場の様子。



ポスターセッション。



懇親会。



オプションル見学。

日本情報考古学会第36回大会プログラム（記録）

日本情報考古学会第36回大会は、以下のような日程・内容でした。記録としてプログラムを掲載します。

期日：2016年3月26日（土）・27日（日）

会場：九州国立博物館（福岡県太宰府市石坂4-7-2）
研修室

第1日 3月26日（土）

開会式 13:00-13:10 大会実行委員長 及川昭文

一般講演（座長 川宿田好見）

研究発表 1 13:10-13:30

三次元コンピュータグラフィックスの適用による北部九州弥生時代甕棺墓の検討

新屋敷久美子（（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）

研究発表 2 13:30-13:50

曲面近似に基づく点群の自動欠損補間手法の検討

村木祐太、西尾孝治（大阪工業大学）、金谷孝之（広島国際大学）、小堀研一（大阪工業大学）

研究発表 3 13:50-14:10

青銅器のための点群データの自動位置合わせに関する一手法

村木祐太、平井智也、武田匡平、小堀研一（大阪工業大学）

研究発表 4 14:10-14:30

土器遺物の産地問題に関する研究の方法

三辻利一（鹿児島国際大学）

一般講演（座長 廣田吉三郎）

研究発表 5 14:40-15:00

陶質土器の伝播に関する研究

三辻利一（鹿児島国際大学）

研究発表 6 15:00-15:20

遺物分類技能の獲得過程：記憶課題（描画課題）との比較から

時津裕子（徳山大学）

研究発表 7 15:20-15:40

縄文時代の埋葬における空間的認識—被葬者の顔・膝の向きを中心に—

中川朋美（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

特別講演 15:50-16:50

情報と邪馬台国

高島忠平先生（学校法人旭学園 理事長）

懇親会 レストラン「グリーンハウス」（九州国立博物館別館）

第2日 3月27日（日）

一般講演（座長 緒方俊輔）

研究発表 8 10:00-10:20

前方後円墳の基壇と墳丘—五社神古墳の築造規格から—

西村 淳（函館大学）

研究発表 9 10:20-10:40

九州の埴輪の蛍光X線分析

三辻利一（鹿児島国際大学）

研究発表 10 10:40-11:00

縄文土器の伝播に関する研究の可能性

三辻利一（鹿児島国際大学）

研究発表 11 11:00-11:20

日本出土の中世中国系瓦の蛍光X線分析による産地推定Ⅱ

中園 聡（鹿児島国際大学）、平川ひろみ、太郎良真妃、下小

牧 潤、楊 帆（同大学院）

ポスターセッション解説※ 11:20-12:00

オブショナル見学 13:00-13:40

一般講演（座長 中園 聡）

研究発表 12 13:40-14:00

現代石工の身体技法（2）—香川県小豆島における花崗岩を割る技術—

川宿田好見（同志社大学文化遺産情報科学研究センター）

研究発表 13 14:00-14:20

弥生土器製作者の身体技法—回転台と“人間ロクロ”の民族考古学的調査—

平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）、中園 聡（同大学）

研究発表 14 14:20-14:40

北部九州弥生時代中期における東・西土器様式の検討

太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）

研究発表 15 14:40-15:00

文字画像分類手法の評価指標の提案

山口文彦（長崎県立大学教育開発センター）

研究発表 16 15:00-15:20

数理解析と考古学—楕円フーリエ解析による形状分析—

銘苅耕作（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

開会式 15:20-15:25

※ポスターセッション

研究発表 17

土器カテゴリーは学習保持されるか

時津裕子（徳山大学）

研究発表 18

日本古建築モデリング用スクリプトライブラリの開発

生澤克浩、近藤直樹（帝京大学理工学部ヒューマン情報システム学科）

研究発表 19

日本および中国発見の南宋瓦の三次元計測

太郎良真妃、中園 聡、平川ひろみ、下小牧 潤（鹿児島国際大学大学院）

研究発表 20

大坂城大手見付石のデジタルカメラ三次元計測とバーチャル接合

森多花梨（大阪大学）、三瓶裕司（公益財団法人かながわ考古学財団）、佐藤宏介（大阪大学）

研究発表 21

三次元コンピュータグラフィックスの適用による北部九州弥生時代甕棺墓の復元例

新屋敷久美子（（公財）鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）

研究発表 22

SfMによる土器調整痕の三次元形状比較—土器製作者個人の高精度同定法の洗練のために—

太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）、中園 聡（同大学）、平川ひろみ（同大学院）

研究発表 23

小豆島におけるパブリックアーケオロジーの実践

川宿田好見（同志社大学文化遺産情報科学研究センター）

研究発表 24

土器製作におけるミガキ具—北タイにおけるミガキ石の民族考古学的調査—

平川ひろみ（鹿児島国際大学大学院）、中園 聡（同大学）、川宿田好見（同志社大学文化遺産情報科学研究センター）

2015 年度第 2 回理事会議事録

日 時：2016 年 3 月 26 日（土）10:00 ～ 12:00

場 所：九州国立博物館 研修室

出席者：植木武（議長）、及川昭文、岡安光彦、川宿田好見、
佐藤宏介、中園聡、廣田吉三郎、三瓶裕司

1. 報告

1. 2015 年度活動報告

事務局より報告。会員情報の確認（4 月）。学会誌第 21 巻、会報 No.36、No.37 を発行。理事会を 2 回開催。第 35 回大会（10 月 3・4 日 共立女子大）、第 36 回大会（3 月 26・27 日 九州国立博物館）。総会（10 月 4 日）。役員選挙（2 月）など。

2. 会員動向について

事務局より報告。物故者を含む 14 名退会。長期連絡先不明の会員を退会処理することになった。入会は 8 名（正会員 4 名、準会員 4 名）で、若手が入会する傾向が継続している。

3. 学会誌編集委員会報告

『情報考古学』第 21 巻 1・2 合併号を 2015 年 12 月 31 日に刊行。現在の投稿状況の報告があった。

2. 審議事項

1. 2016 年度の活動および予算方針について

事務局より、2015 年度は会費納入やブース出展等により予算よりやや収入増、支出もやや抑えられることが報告された。実績をもとに 2016 年度の活動・仮予算案が提示され承認された。

2. 次期役員（理事・監事）について

2 月に実施した 2016 ～ 2018 年度役員選挙の開票結果が選挙管理委員会より示され、審議の結果、理事は得票数上位 22 人、同様に監事 2 名を当選とした。会長選出は新理事会で行う。

3. 次回大会について

審議の結果、早期に決定することとなった。

4. その他

会員名簿を作成することになった。学会誌電子版公開に関する課題、投稿・査読規程の改正・整備等を検討した。学会誌掲載料を会員外から徴する素案が議論され、今後、検討を進める。名誉会員について発議があり、1 名を推薦することとした。

2016 ～ 2018 年度役員選挙結果

昨年度末に実施された 2016 ～ 2018 年度役員選挙の選挙結果は以下の通りです。会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。

投票数	59 通
うち有効投票数	56 通
無効投票数	3 通

選挙管理委員会（千原國宏・川宿田好見）が開票・確認し、理事会に報告。得票順に役員（理事・監事）が選出され、本人からの承諾書をもって下記の通り決定しました。

【理事】植木 武 植田 真 植村俊亮 及川昭文
大塚初重 岡安光彦 川宿田好見 菅頭明日香
佐藤宏介 酒井英男 千葉 史 時津裕子 中園 聡
西村 淳 野口 淳 廣田吉三郎 平川ひろみ 寶珍輝尚
三瓶裕司 三辻利一 宮原健吾（五十音順）

【監事】横見博之 千原國宏

新役員・委員

新理事会で投票の結果、植木武理事が会長に選出されました。2016 年度からの役員・委員は次の通りです。

会 長 植木 武

副会長 佐藤宏介 中園 聡

監 事 千原國宏 横見博之

学会誌編集委員会 寶珍輝尚（編集局長）西村 淳
千葉 史 中園 聡

事業委員会 廣田吉三郎（委員長）植田 真

広報委員会 佐藤宏介（委員長）岡安光彦 時津裕子
野口 淳 三瓶裕司

学会賞選考委員会 植木 武（委員長）及川昭文
酒井英男 岡安光彦

組織・会則委員会 植村俊亮（委員長）時津裕子
宮原健吾

選挙管理委員会 三辻利一（委員長）川宿田好見

電子化委員会 及川昭文（委員長）佐藤宏介 寶珍輝尚
千葉 史

ダイバーシティ推進委員会 川宿田好見（委員長）
野口 淳 菅頭明日香

学会事務局 中園 聡（事務局長）平川ひろみ（委員）
日本学術会議等連絡担当委員 中園 聡

第 37 回大会・総会の開催について

日本情報考古学会第 37 回大会・2016 年度総会を下記のとおり開催いたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。会員の皆さまには別途、プログラムをお送りします。また、広く周知していただきますよう、ご協力ください。

学会ホームページにも情報を掲載しておりますので、併せてご覧ください。また、詳細情報はホームページに逐次いたします。

開催日 **10 月 8 日（土）・9 日（日）** の 2 日間
（8 日 13:00～17:30、9 日 10:00～15:10）

場 所 **土浦市立博物館 視聴覚ホール**
（茨城県土浦市中央 1 丁目 15-18）

特別講演「日本の箱式石棺」

講 師 **茂木雅博 先生**
（茨城大学名誉教授・土浦市立博物館館長）

一般講演（研究発表）は 20 件の予定です。

学会ホームページにも情報を掲載しておりますので、ご覧ください。また、詳細情報等は同ホームページで逐次お知らせいたします。

土浦市立博物館では、特別公開「土屋家の刀剣一国宝・重要文化財の公開」の期間中です。（10 月 10 日まで）

日本情報考古学会刊行物の頒布

本学会では、この『日本情報考古学会会報』のほか、大会の開催時に『日本情報考古学会講演論文集』、定刊行物として学会誌『情報考古学』を刊行しています。『会報』と『情報考古学』は会員の皆様にお届けしていますが、『講演論文集』は大会に出席されなかった場合はお持ちでない方が多いと思います。『講演論文集』には会員を中心とする最新の研究成果が短い論文として掲載されていますので、入手ご希望の方は、事務局までお申し込みください。

なお、残部がないものにつきましてはご容赦ください。最近のものは次の通りです。

◇『日本情報考古学会講演論文集』Vol.15（通巻 35 号）
2015 年 10 月発行。第 35 回大会の発表に関連する論文等を掲載（本文 126 頁）。頒価 2000 円＋送料。

◇『日本情報考古学会講演論文集』Vol.16（通巻 36 号）
2016 年 3 月発行。第 36 回大会の発表に関連する論文等を掲載（本文 106 頁）。頒価 2000 円＋送料。

そのほかのバックナンバーもありますので、ご希望の方はお問い合わせください。お申し込みの際は、お届け先と冊数、連絡先等の明記をお



願いたします。明細をご連絡いたします。送料は通常の場合、82 円です。

なお、第 37 回大会当日、次号を発行します。

学会誌『情報考古学』のバックナンバーも頒布していますので、事務局までお問い合わせください。

お願い

- ◆年会費納入のご協力ありがとうございます。今年度会費を未納の方は、お忘れなくお願いします。不明な場合は、メールでお問い合わせください。
- ◆住所、所属、役職、送付・連絡先等に変更がある会員は、直ちに事務局までご連絡ください。
- ◆入会ご希望の方は申込書を事務局宛て送付ください。賛助会員は「賛助会員入会の手引き」をご覧ください。様式や手引きは学会ホームページにあります。
- ◆事務局へのご連絡はなるべくメール（文書）でお願いいたします。口頭による誤解等を防ぐとともに、事務局が調査等で不在のときも対応できます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本学会は下記の賛助会員よりご支援いただいています。

株式会社 四門 株式会社 CUBIC
国際文化財株式会社 ほか

日本情報考古学会会報 No.38

2016 年 9 月 18 日

発行 日本情報考古学会事務局

〒891-0197 鹿児島市坂之上 8 丁目 34-1
鹿児島国際大学中園聡研究室内

E-mail: archaeoinfoiuk@gmail.com

<http://www.archaeo-info.org/>